

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第51週（12月17日～12月23日）

## ★ お知らせ

**感染性胃腸炎（ノロウイルス） 注意報発令中！**

- ◆ 定点当たり前週の17.53から18.53に増加
- ◆ ほとんどは軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化や吐物を詰まらせて死亡も
- ◆ 脱水にならないように、水分の補給
- ◆ 感染力は大変強く、学校や社会福祉施設など集団生活の場で特に注意
- ◆ 症状が消失した後も、約1週間は便の中にウイルスが排出
- ◆ 感染を拡げないために、必ず手洗い
- ◆ ウイルスを含む汚染物の処理には次亜塩素酸ナトリウムを使用するか、85℃以上で1分以上の加熱
- ◆ 高知県ノロウイルス対策マニュアル (URL<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>)

### ○ インフルエンザ増加中！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の1.27から2.79と2倍以上増加しました。医療機関による迅速キットの結果では、インフルエンザウイルスA型、B型の両方が検出されています。今後、更なる増加が考えられますので、外出後の手洗いやうがいの励行とともに、咳エチケットに心がけるようにしてください。

### ○ 呼吸器系感染症に注意して！

RSウイルス感染症やマイコプラズマ肺炎などの呼吸器系の感染症が流行のシーズンです。RSウイルス感染症の患者数は前週から2倍近く増加し、マイコプラズマ肺炎は病原体定点から肺炎マイコプラズマ（*Mycoplasma pneumoniae*）が9例検出されています。いずれも、咳やくしゃみ、ウイルスのついた手指を通じて感染する為、手洗いをしっかり行い、咳がある場合は咳エチケットを守りましょう。

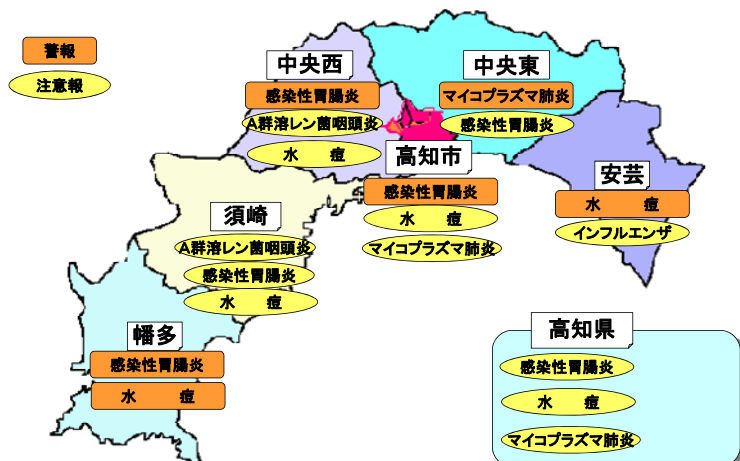
## ★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）



疾病名	推移	定点当たり報告数(人)	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	18.53	高知市、中央東、安芸で増加し、全体では注意報値を超している。幡多、高知市、中央西で警報値を、須崎、中央東で注意報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。
水痘	→	3.03	中央西、高知市で増加し全体では注意報値を超している。安芸、幡多で警報値を、須崎、高知市、中央西で注意報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。
インフルエンザ	↑	2.79	幡多以外で増加した。安芸では注意報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。
RSウイルス感染症	↗	2.23	安芸以外で増加している。流行のシーズンなので注意が必要。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	1.50	中央東、安芸、高知市で増加した。須崎、中央西で注意報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。

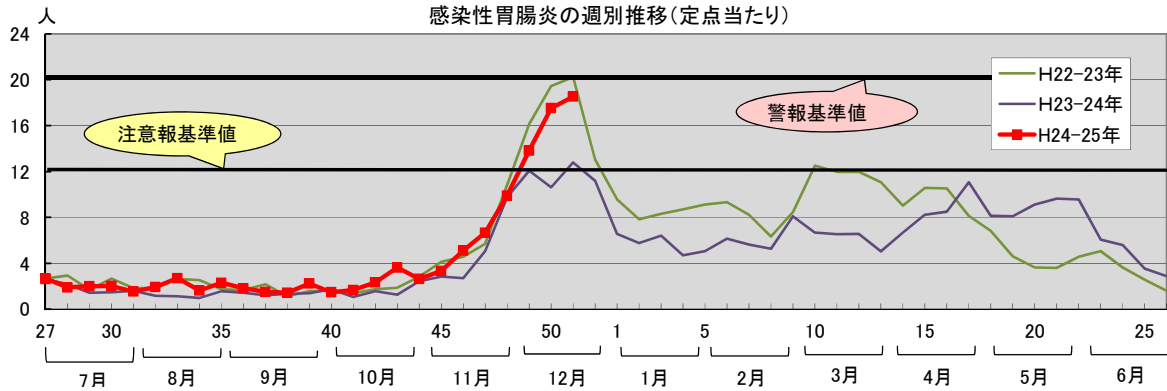
## ★ 地域別感染症発生状況



★ 気を付けて！

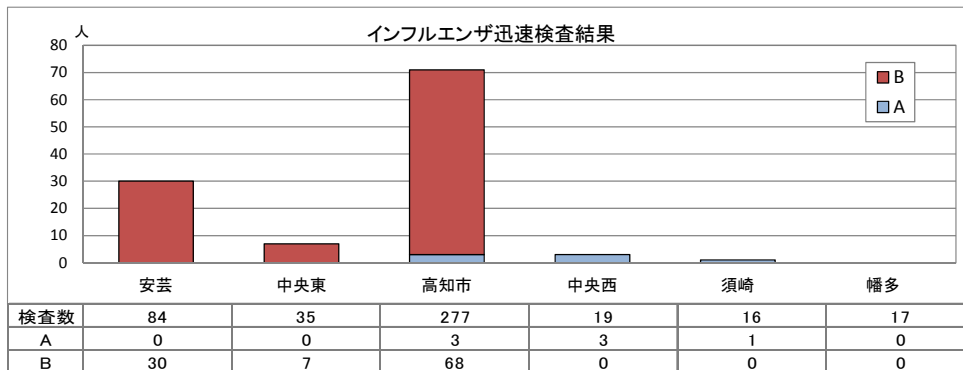
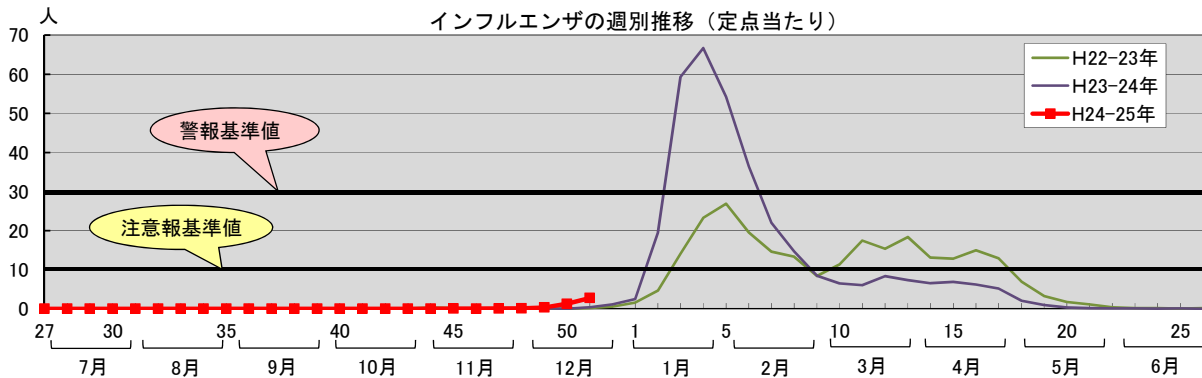
○ **感染性胃腸炎：18.53** （注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり18.53（前週：17.53）と7週連続増加し引き続き注意報値を超えています。高知市（22.00）中央東（12.57）安芸（11.50）で増加しています。幡多（23.00）高知市、中央西（20.00）では警報値を、須崎（14.00）中央東では注意報値を超えています。病原体定点からはNorovirusGⅡNTが3例検出されています。予防方法の基本は、手洗いです。特に、排便後、調理や食事の前には入念に手洗いをしましょう。



○ **インフルエンザ：2.79** （注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり2.79（前週：1.27）と4週連続増加しています。学校欠席者情報収集システムでも約2倍の増加がみられ、特にインフルエンザウイルスB型の報告が増加しています。例年1月から患者数が急増しているので今後注意してください。予防方法は手洗い、うがい、咳エチケットです。



★ 病原体検出情報

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
51	感染性胃腸炎	1	男	高知市	Norovirus GII NT
51	感染性胃腸炎	1	女	須崎	Norovirus GII NT
51	感染性胃腸炎	5	男	須崎	Norovirus GII NT
51	マイコプラズマ	5	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
51	百日咳	3ヶ月	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
51	マイコプラズマ感染症	1	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
51	マイコプラズマ肺炎	3	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
51	マイコプラズマ	4	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
51	マイコプラズマ肺炎	5	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
51	マイコプラズマ肺炎	13	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
51	マイコプラズマ肺炎	9	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
51	百日咳	25	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
44	インフルエンザ	89	女	須崎	Influenza virus A H3 NT*
50	感染性胃腸炎	2	男	須崎	Coxsackievirus A2
50	インフルエンザ	7	男	高知市	Influenza virus B/Victoria*
50	急性上気道炎	6ヶ月	女	高知市	Rhinovirus
50	不明発疹症	10	男	須崎	Rhinovirus
50	膀胱炎	7	男	高知市	Adenovirus B

「保健所」について、患者の居住地を管轄する保健所名を記載する。

\*44週、50週のインフルエンザについては受付週にPCR検査でそれぞれA型、B型を検出し、その後分離培養しInfluenza virus A H3 NT、Influenza virus B/Victoria が分離されました。

★ 全数把握感染症

類	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	2	134	30歳代（男）	高知市
				40歳代（女）	
4類	つつが虫病	1	6	60歳代（男）	中央東

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	インフルエンザ B 型 2 例（5 歳女、6 歳男；室戸市）
中央東	野市中央病院小児科	インフルエンザ B 型 2 例（2、6 歳男；ワクチン未）
	早明浦病院小児科	みつば保育園 1、2 歳児クラス水痘流行中
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 2 例（8 歳女、10 歳男） カンピロバクター腸炎 1 例（63 歳男）
	細木病院小児科	ノロウイルス（+）5 例（1 歳男、2 歳 4 名）
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎 2 例（1 歳男；県外から帰省、1 歳男；須崎市）
	日高クリニック	アデノウイルス感染症 2 名（2、3 歳男） 帯状疱疹 1 例（11 歳男）
須 崎	もりはた小児科	マイコプラズマ肺炎 2 例（4 歳女、9 歳男） アデノウイルス扁桃炎 1 例（2 歳男） 帯状疱疹 1 例（13 歳男）
幡 多	渭南病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1 例（3 歳女）
	さたけ小児科	マイコプラズマ感染症 1 例（11 歳男）
	松谷内科	感染性胃腸炎が少し目立ちます

★ 全国情報

第49週（12/3～12/9）

- 1類感染症：報告なし
- 2類感染症：結核303例
- 3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症25例、腸チフス4例
- 4類感染症：B型肝炎2例、つつが虫病30例、デング熱3例、日本紅斑熱2例、マラリア1例、ライム病1例、レジオネラ症16例
- 5類感染症：アメーバ赤痢11例、ウイルス性肝炎1例、急性脳炎3例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例  
後天性免疫不全症候群14例、梅毒10例、破傷風3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症4例、  
風しん47例、麻しん1例
- 報告遅れ：日本紅斑熱1例、急性脳炎2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

◆インフルエンザ

インフルエンザ（Influenza）は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。典型的な発症例では1～4日間の潜伏期間を経て、突然に発熱（38℃以上の高熱）、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻水・咳などの呼吸器症状がこれに続く。通常は1週間前後の経過で軽快するが、いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いのが特徴である。主な感染経路はくしゃみ、咳、会話等で口から発する飛沫による飛沫感染であり、他に接触感染もあるといわれている。

インフルエンザを予防する手段としては、まずはワクチンの接種があげられる。また、感染対策としては、飛沫感染対策としての咳エチケット、接触感染対策としての手洗い等の手指衛生が重要である。インフルエンザでは、たとえ感染者であっても、全く症状のない不顕性感染例や、感冒様症状のみでインフルエンザウイルスに感染していることを本人も周囲も気が付かない軽症例も少なくないため、特にヒト-ヒト間の距離が短く、濃厚な接触機会の多い学校、幼稚園、保育園等の小児の集団生活施設においては可能である場合は職員も含めて全員が咳エチケット、手指衛生を実行するべきである。

感染症発生動向調査では、全国約5,000カ所（小児科定点約3,000、内科定点約2,000）のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析している。インフルエンザの定点当たり報告数は、2012年第43週以降増加が続いており、第49週の定点当たり報告数0.57（報告数2,832）は、前週（0.31）と比較してほぼ倍増した。都道府県別では佐賀県（5.58）、沖縄県（2.81）、群馬県（2.66）、千葉県（1.26）、岐阜県（1.05）、大分県（1.05）、埼玉県（1.04）、山梨県（1.00）の順となっており、37都道府県で前週よりも増加が認められた。

2012年第36～49週に国内では170検体のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、AH1pdm09が15件（8.8%）、AH3亜型（A香港型）141件（82.9%）、B型14件（8.2%）とこれまでのところAH3亜型が大半を占めている。

今シーズン（2012/2013年シーズン）のインフルエンザの定点当たり報告数は今後さらに増加し、まもなく全国的な流行開始の指標である1.00を上回る可能性が高いと予想される。インフルエンザの予防の基本はインフルエンザワクチンの接種であり、ワクチンの接種を必要としながらも、現時点ではまだ接種が実施されていない場合は速やかに接種することが望まれる。今後ともインフルエンザの発生動向には注意深い観察が必要である。

★警報値・注意報値の変更について

平成25年第1週から定点当たりの警報値及び注意報値が表のとおり変更となります。

疾 病	警報値	注意報値	疾 病	警報値	注意報値
インフルエンザ	30	10	伝染性紅斑	2	1
咽頭結膜炎	3	1	百日咳	1	0.1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	ヘルパンギーナ	6	2
感染性胃腸炎	20	12	流行性耳下腺炎	6	3
水痘	7	4	急性出血性結膜炎	1	0.1
手足口病	5	2	流行性角結膜炎	8	4

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第51週 平成24年12月17日(月)～平成24年12月23日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(50週)	高知県(51週末累計)	全国(50週末累計)
インフルエンザ	インフルエンザ		51	8	71	3	1		134 ( 2.79)	61 ( 1.27)	5,789 ( 1.17)	16,639 ( 346.65)	1,648,926 ( 335.63)
小児科	咽頭結核熱							3	3 ( 0.10)	2 ( 0.07)	1,422 ( 0.45)	167 ( 5.57)	50,586 ( 16.09)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	8	20	7	5	3	45 ( 1.50)	34 ( 1.13)	6,390 ( 2.03)	2,000 ( 66.67)	265,489 ( 84.47)	
	感染性胃腸炎	23	88	242	60	28	115	556 ( 18.53)	526 ( 17.53)	60,604 ( 19.23)	9,046 ( 301.53)	1,141,547 ( 363.20)	
	水痘	12	4	36	9	7	23	91 ( 3.03)	91 ( 3.03)	6,638 ( 2.11)	2,486 ( 82.87)	182,581 ( 58.09)	
	手足口病							( )	( )	1,329 ( 0.42)	121 ( 4.03)	70,682 ( 22.49)	
	伝染性紅斑			3				3 ( 0.10)	5 ( 0.17)	171 ( 0.05)	864 ( 28.80)	20,639 ( 6.57)	
	突発性発疹		3	8	2	1		14 ( 0.47)	8 ( 0.27)	1,545 ( 0.49)	684 ( 22.80)	89,422 ( 28.45)	
	百日咳							( )	1 ( 0.03)	39 ( 0.01)	329 ( 10.97)	3,985 ( 1.27)	
	ヘルパンギーナ	2			2			4 ( 0.13)	( )	121 ( 0.04)	835 ( 27.83)	114,252 ( 36.35)	
	流行性耳下腺炎							1 ( 0.03)	5 ( 0.17)	1,060 ( 0.34)	689 ( 22.97)	69,512 ( 22.12)	
RSウイルス感染症		11	35	9	7	5	67 ( 2.23)	39 ( 1.30)	4,022 ( 1.28)	1,062 ( 35.40)	89,930 ( 28.61)		
眼科	急性出血性結膜炎							( )	( )	5 ( 0.01)	1 ( 0.33)	459 ( 0.67)	
	流行性角結膜炎			1				1 ( 0.33)	1 ( 0.33)	428 ( 0.63)	47 ( 15.67)	18,898 ( 27.75)	
基幹	細菌性髄膜炎							( )	( )	6 ( 0.01)	9 ( 1.29)	454 ( 0.97)	
	無菌性髄膜炎							( )	( )	15 ( 0.03)	24 ( 3.43)	895 ( 1.92)	
	マイコプラズマ肺炎		2	9				11 ( 1.38)	13 ( 1.63)	505 ( 1.07)	252 ( 36.00)	22,477 ( 48.13)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							( )	1 ( 0.13)	15 ( 0.03)	14 ( 2.00)	850 ( 1.82)	
計	(小児科定点当たり人数)	90 ( 32.25)	124 ( 17.01)	425 ( 35.71)	92 ( 30.27)	49 ( 24.25)	150 ( 30.00)	930 ( 28.91)		90,104	35,269 ( 956.09)	3,791,584	
前週	(小児科定点当たり人数)	44 ( 18.50)	76 ( 10.61)	315 ( 26.07)	96 ( 32.00)	79 ( 39.50)	177 ( 35.40)		787 ( 24.97)				

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第51週						計	前週	全国(49週)	高知県(50週末累計)	全国(49週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
インフルエンザ	インフルエンザ		12.75	0.73	4.44	0.60	0.25		2.79	1.27	1.17	346.65	335.63
小児科	咽頭結核熱							0.60	0.10	0.07	0.45	5.57	16.09
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	1.14	1.82	2.33	2.50	0.60	1.50	1.13	2.03	66.67	84.47	
	感染性胃腸炎	11.50	12.57	22.00	20.00	14.00	23.00	18.53	17.53	19.23	301.53	363.20	
	水痘	6.00	0.57	3.27	3.00	3.50	4.60	3.03	3.03	2.11	82.87	58.09	
	手足口病							( )	( )	0.42	4.03	22.49	
	伝染性紅斑			0.27				0.10	0.17	0.05	28.80	6.57	
	突発性発疹		0.43	0.73	0.67	0.50		0.47	0.27	0.49	22.80	28.45	
	百日咳							( )	0.03	0.01	10.97	1.27	
	ヘルパンギーナ	1.00			0.67			0.13	( )	0.04	27.83	36.35	
	流行性耳下腺炎						0.20	0.03	0.17	0.34	22.97	22.12	
RSウイルス感染症		1.57	3.18	3.00	3.50	1.00	2.23	1.30	1.28	35.40	28.61		
眼科	急性出血性結膜炎							( )	( )	0.01	0.33	0.67	
	流行性角結膜炎			1.00				0.33	0.33	0.63	15.67	27.75	
基幹	細菌性髄膜炎							( )	( )	0.01	1.29	0.97	
	無菌性髄膜炎							( )	( )	0.03	3.43	1.92	
	マイコプラズマ肺炎		2.00	1.80				1.38	1.63	1.07	36.00	48.13	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							( )	0.13	0.03	2.00	1.82	
計	(小児科定点当たり人数)	32.25	17.01	35.71	30.27	24.25	30.00	28.91			956.09		
前週	(小児科定点当たり人数)	18.50	10.61	26.07	32.00	39.50	35.40		24.97				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869